

# 家族会第一回連続講座を開催

日刊  
勤労千葉

1988.6.9  
No.2832

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二二七二〇七



今回は 土屋さくさん（日本婦人会議）の「戦争と子供の教育」について学習したい

家族会々々長・林 喜美子

入梅前の六月五日（日）、かなりの蒸し暑さの中、土屋先生は開演三〇分前にさっそうとワンピース姿で来て下さいました。（娘さんに、今はワンピースははやらないのと言われたそうですが、とんでもございません、とても素敵でした。）広い範囲にわたり、沢山のことを私達家庭の主婦向けに、分かりやすく話をして下さり、又質問にも答えて下さり、とても良い勉強ができました。

戦争を繰り返してはならない

まず土屋先生は、第二次世界大戦のことについて、日本軍が中国侵略や沖縄戦で果たしたその役割のひどさ、残虐なことをお話しされました。

なぜ、中国残留孤児の問題がおきているのか、沖縄でたくさんの方が死んでいったのかこのことをしっかりと見つめなければいけません。

そして現在、また再び偽政者どもが戦争にむけて教育を右傾化させていること。例えば、日の丸・君が代を前面に押し出し、社会科をなくそうだとか、日本が行った侵略戦争の説明を教科書からなくしてしまうとか。

いままた戦争がおれば核戦争になります。全面核戦争になれば、人類は滅亡、零下四〇度の世界になってしまうそうです。

チェルノブイリの原発事故の影響はまだまだ続いており高濃度の放射能は草木、家畜などに悪影響を与えているそうです。いまの原爆は、広島・長崎の数百倍、想像しただけでも、とり肌がたちます。

よい食品を食べさせよう

食品及びに食品添加物の話では、以前三ケ百円と言うハンバーグが売られていたのですが、ねこの肉まではいかなくてもそれに近いものが入っていたらしい。製造工場は見学させてもらえなかったそうです。フスマ（小麦を粉にひいた時に出る皮のクズ）に化学製品の肉エキスを加えるとひき

肉と同じになるそうです。常識では考えられない値段の製品は買わないようにした方がよいのでは、とのことでした。育ち盛りの子供さんのいる家庭では、特に食事には気をつけられた方がよいと思います。胃袋をしつかりと、母親がとらえておく、つまりバランスの良い食事をさせてあげれば、その子は非行に走らないそうです。胃袋が行動するという話を以前TVでやっていたのを思い出しました。

JR同様のことを行おうとする臨教審

臨教審によって初任者研修がとりいれられました。マンツーマン方式で一定期間、研修を受けてさせてから採用、不採用を決めるという新任教師の選定方法、もちろん日教組にはいらないようなそぶりを見せれば不採用。今、JRがやっている勤労千葉・国労つぶしの上をいく国のやりかたは必ず戦争にいきつくということを痛感しました。

戦争へむけた攻撃を絶対に許してはいけません。このことを先生の話から改めて教えられた、水無月最初の日曜日でした。

土屋先生のお話を子どもにも伝えます。家族会Kさん

幼稚園で外からはみ出して赤くぬった日の丸、小学校の卒業式に歌った君が代、私も知らず知らずのうちに戦争教育を受けてきました。今は露骨に戦争教育が表だっていますが、これからいろいろと考え学んでいく子供達に強制し、偏った思想をうつけさせていくことは、とても恐ろしいことです。

戦争の話など八月にならないと聞けない今日この頃ですが、過去の誤りを二度と繰り返さないためにも、平日頃より注意していかないといけないと思います。戦争体験のない私も子に伝えていかねばなりません。貴重なお話をうかがえてたいへん勉強になりました。